



第497号 2015年7月1日

編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1

広大附属アカシア会館

TEL & FAX 082-253-5581

次回は 通算 580回 例会

祝 母校創立110周年



110周年記念祝賀会 鏡開き (4月18日 広島国際会議場ダリアにて)

110周年記念特集第6号もご覧ください

ご予約ください

2015年11月1日発行
へ向けて現在作中!

「業種別索引」も掲載しています。
同封の払込取扱票でお申し込みください。

☎01300-4-13111
「アカシア会」

2016年版 **11月発行**
アカシア会
会員名簿

定価
3,600円

7月末日までにお届けいただいているご住所
が名簿に反映されますので変更のある方は
お早めにお知らせください。

第11回 原爆死没者・戦没者慰霊追悼の集い

日時：8月6日(木)午前9時から

場所：広大附属高校内「原爆死没者・戦没者慰霊碑」前



ご遺族のほか現役の附属生徒、卒業生などが
参列して慰霊式典を執り行います。

慰霊式の終了後9時45分から講堂にて「被
爆体験を聞く会」を、新井俊一郎氏(41回)を
お招きして開催します。多数ご参列ください。
暑さ厳しき折、平服でお越しく下さい。

平成27年度 アカシア会総会

日時：平成27年7月17日(金)午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)

平成26年度事業・決算報告、監査報告
平成27年度事業計画・予算案 他

アカシア会員なら参加自由。直接会場にお越しください。総会後の月
例アカシア懇談会会費は4,000円(84回以降の卒業生3,000円)です。

Contents

名簿予約、総会、追悼の集い案内 … 1	呉・北海道アカシア会、 職域・クラブだより ……10
総会議事資料、常任幹事会報告、 運営会費納入のお願い …… 2	同期会だより ……11
友誼の御園(母校だより) …… 3	アカシアライブラリー、 訃報 ……14
アカシア探検隊 織田秀和氏(70回) … 4	出てもらうてもええかいのお、 アカシミニギャラリー、事務局だより…15
アカシア夜話 古川 浩氏(40回) …… 6	6月例会レポート、月例会案内 ……16
いろいろアカシア情報、各地域案内、 東京アカシア会 …… 8	
近畿・東海・東北アカシア会 …… 9	

名簿予約・運営会費納入 振込先：ゆうちょ銀行 (郵便局) 01300-4-13111 アカシア会

総会議事資料

平成26年度 アカシア会 収支計算書

自：平成26年4月1日～至：平成27年3月31日

■当年度会計の部

収入の部		支出の部	
会員運営会費	690,000	会報発行費	2,306,812
会員維持会費	15,000	名簿発行費	3,832,773
会員・準会員入会金	5,000	通信費	42,219
新卒者維持会費	1,910,000	電話料	48,912
新卒者入会金	955,000	旅費交通費	293,160
名簿販売収入	1,278,000	会議費	439,149
広告料収入	3,010,000	人件費	1,969,505
預金利息	620	事務用品費	78,156
アカシア基金運用益	149,479	母校宛寄付金	70,000
寄付金収入	10,000	手数料	15,762
雑収入	88,941	追悼の集い諸経費	119,313
事務受託費	360,000	雑費	1,558
運営積立金から振替	87,000	器具備品費	87,480
		維持費	64,800
		その他の支出	122,770
収入の部合計	8,559,040	支出の部合計	9,492,369
合計	8,559,040	当年度剰余金	▲ 933,329
		合計	8,559,040

■余剰金計算の部

(単位：円)

前年度繰越額	1,230,557
当年度剰余金	▲ 933,329
差引翌年度繰越額	297,228

■アカシア基金の部

(特別事業準備金・学校行事補助費) (単位：円)

前年度繰越額	15,400,000
110周年記念事業へ貸付	▲ 3,000,000
差引翌年度繰越額	12,400,000

■運営積立金の部

(単位：円)

前年度繰越額	42,332,200
運営会費収入	1,700,000
当年度会計へ振替	▲ 87,000
差引翌年度繰越額	43,945,200

監査報告書

上記収支計算書および財産目録につき監査の結果、適正に経理されていることを認めます。
平成27年5月8日 監事 高橋正光(46回)
監事 寒川起佳(51回)

■総会で審議予定の議案

◆平成26年度事業・決算報告

(1) 事業報告

・アカシア会報と名簿の発行

会報 平成26年7月 12,400部

平成27年1月 12,400部

名簿 平成26年11月 900部

・地域アカシア会の交流・連携強化

・その他

(2) 決算報告

(3) 監査報告

◆平成27年度事業計画・予算案

(1) 事業計画

・アカシア会報と名簿の発行

会報 平成27年7月 12,500部

平成28年1月 12,500部

名簿 平成27年11月 900部

・地域アカシア会・学年幹事会との交流・連携強化

・予算検討委員会の立ち上げ

(2) 予算案(総会当日配付)

常任幹事会報告



向井会長(議長)

平成27年6月9日(火)母校大会議室に於いて、常任幹事会が会長・副会長・監事と、常任幹事(51名のうち28名の出席と19名の委任状提出)を参集し、開催された。向井恒雄会長(50回)の挨拶の後、以下のとおり審議・協議および報告をおこなった。

審議事項

①平成26年度事業報告、決算(案)

甲斐稔事務局長(63回)、熊野留美子会計担当幹事(70回)が報告、高橋正光監事(46回)の監査報告を経て、承認された。

②平成27年度事業計画、予算(案)

予算について、年々の収入減(運営会費・広告料)に対し、支出の削減も検討すべきではないかとの質問があったことから、様々な意見が交わされた。収入増への方策をとることと、平成28年度に向けて事業計画および予算の見直しをすることを約束し、今年度は提出議案が承認された。

③役員改選期に伴う役員改選(再任)

(案)、承認。

協議事項

①母校より国旗掲揚台の設置を依頼されたことについて、110周年の寄付の一部をそれに充てることが可能か協議、承認された。

報告および依頼事項

- ①会員名簿2016年版への広告取得拡大について依頼。
- ②110周年記念事業について

て、本田和哉実行委員長(62回)はじめ各部長より報告があった。

大方幸三幹事長(46回)より閉会の挨拶が述べられ、散会となった。



運営会費納入のお願い

アカシア会の健全、永続的な運営のために、75回(卒業後30年)以前の卒業生全員に1万円の運営会費をお願いしています。まだ納入いただけていない方には振込票を同封していますので、是非とも会費1万円を最寄りのゆうちょ銀行よりお振り込みください。

安定した運営体制を次世代に引き継いでいくためにも、同学年やお知り合いの方にお声掛けくださいますようお願いいたします。

卒業別別納入者数(2015年6月12日現在)対象会員数6021人・納入者数3688人・納入率61.3%

卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入
17回	1		32回	14	6	47回	156	116	62回	175	110
18回	1		33回	16	8	48回	164	158	63回	170	111
19回	2	1	34回	23	9	49回	156	112	64回	171	83
20回	1		35回	30	14	50回	170	123	65回	180	108
21回	1		36回	30	7	51回	157	137	66回	183	110
22回	1		37回	24	10	52回	163	120	67回	182	108
23回	3		38回	63	25	53回	179	116	68回	171	100
24回	3	1	39回	46	12	54回	177	98	69回	176	102
25回	2	1	40回	70	29	55回	182	109	70回	182	128
26回	4		41回	65	32	56回	173	106	71回	157	102
27回	5	1	42回	69	22	57回	173	141	72回	175	126
28回	4	2	43回	147	137	58回	163	96	73回	172	79
29回	15	6	44回	153	115	59回	184	113	74回	169	72
30回	7		45回	115	82	60回	170	94	75回	173	0
31回	10	1	46回	113	86	61回	180	103			

友誼の御園 ～母校だより～

ご挨拶

学校長 竹村 信治



本年4月17日、広島大学附属中・高等学校は明治38年の開校以来110年を迎えました。翌18日には、広島国際会議場フェニックスホールにおきまして創立110周年記念式典を挙行、その折にはアカシア会でも祝賀記念事業「宇宙フォーラム」をご企画いただき、祝典を華やかで意義あるものにしていただきました。加えて、現在、記念事業の一環として食堂の改修計画も進めていただいております。会員の皆さまからの協賛金によるものですが、かれこれ併せて、アカシア会の母校に寄せられる懇篤なるご芳情、ご厚志に思いを致し、皆さまのご期待に応えうる学校づくりをと、決意を新たにしている次第です。

4月1日着任以来の怒濤の「フゾク」体験。「附属らしさ」を体感する毎日ですが、名実ともに「フゾク」の校長となるにはなおしばらくの時日を要するようです。本年度の本校の目標の一つは生徒、教職員が「チーム附属」としてその成果を広く発信すること。生徒においては文化祭、体育祭、SSH等の学習活動、進路実現など。教職員においては日頃の学校運営、教育指導、中等学校教育全般にわたる研究活動。ここに同窓生の皆さまのご参加が得られれば、「チーム附属」はより広範な可能性に開かれたものとなりましょう。その広がりを実現していく中で私も「フゾク」の校長となることができればと願っております。引き続きご理解とご支援をいただきますようお願いしてご挨拶といたします。

創立110周年を迎えて — 中高生徒代表挨拶 —



高校生徒会執行委員長 中島 彩都子(高Ⅲ)

創立110周年の年に執行委員長を務めることを大変光栄に思いますと同時に、この学校の歩んできた歴史、そして重みを改めて感じ、在校生として非常に身の引き締まる思いです。

110年を経た今も附属の「自由・自主・自律」の精神は私たち生徒の中に綿々と受け継がれています。生徒が自主的に行動することができ、またそれを認めサポートしてくださる先生がいらっしゃる、このような恵まれた環境で自分たちの持つ力を存分に発揮できることを非常に嬉しく思います。

今後とも伝統を継承するだけにとどまらず更なる挑戦を続けていくこと、より良い附属の姿を私たち自身の手で模索していく姿勢を忘れず、日々過ごしていきたいと思っております。

また今年は被爆70周年という節目の年でもあります。次世代を担う私たちにとって平和を世界に発信するという役割は重要なものです。そして附属生にはその役割を果たせるだけの力があると確信しています。これからも広島の学生として悲惨な歴史から目を背けずに学び、深く理解し、平和な社会の実現に貢献していきたいです。

最後になりましたが、アカシア会をはじめ多くの卒業生の方々からのご支援に感謝いたしますとともに、附属の新たな1ページを誇りと責任を持って切り拓いていくことをお約束し、挨拶に代えさせていただきます。



中学生徒会執行委員長 杉山 博悦(中3)

執行委員長として、110周年という記念すべき年を迎え、身の引き締まる思いがします。私が執行委員長として活動できるのも、これまで多くの方々が附属を支えてきてくださった上でのことです。ほんとうにありがとうございます。また、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

本校には自分が活躍できる場を見つけ、強みを伸ばす機会が豊富にあります。卒業生の方々とは多方面で活躍をされています。これは、本校に様々な挑戦の機会があることを象徴しています。このような恵まれた環境にありながら、ただ日々を過ごすのは実にもったいないことです。附属生の一人として、自分は今までしかできないと勝手に限界をつくることなく、前向きな思考で過ごしていきたいと思っております。

附属も長い歴史の中で常に進化するため多くのことに挑戦してきました。この10年間の文化祭や体育祭も、大きく変化してきました。『創立110年史』を読むとその推移がよくわかります。もちろん、現在も学校行事に関わる全ての問題が解決されたわけではありません。だからこそ、ただ前例をなぞるだけでなく、創造的、前衛的な意識でものごとを捉えていきたいと思っております。

広大附属110年の伝統を守り、さらに発展させていけるよう、これからも頑張っていきます。

体 育 祭

9月5日(土)(雨天順延)

今年度のコンセプトは「つながる」。生徒同士のつながりのみならず、お越しいただいた方ともつながりたいという思いを込めました。これまでにない取り組みもあるので、広大附属にしかできない体育祭をぜひご覧ください。
体育祭運営局長 鼻岡遼河(高Ⅲ)

アカシア探険隊

MI・2015(夏)

～サンフレッチェ広島地帯の巻～



70回 織田 秀和 氏
～サンフレッチェ広島
代表取締役～

中：紫色した熊って何か分かるかのお？
加：第3回マスコット総選挙で初の1位になったサンチェくんですね！

中：ピンポーン、大正解！

加：もしかしてスカウトですか？！

中：あんたに着ぐるみは無理じゃろ。

加：ほんならまさかの選手ですか？！

中：ワヤ言いんさんな。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
ということで今回は、今年2月にサンフレッチェ広島の代表取締役社長に就任されたアカシア70回の織田秀和さんに話を伺ってきました。

中：社長ご就任、おめでとうございます。また、サンフレッチェは好調ですね。

織：はい、ありがとうございます。皆さまに応援いただいているおかげです。

中：附属小学校当時からサッカー少年だったんですか。

織：いいえ、色んなスポーツをしていました。冬はサッカー、春や秋は陸上競技をしていましたが、当時は何といっても野球が花形でしたから朝早く学校に行ってみんなで遊んでいました。

加：なぜ中学校でサッカー班を選ばれたのでしょうか。

織：小学校の体育の丸山(芳郎)先生が「サッカーやれ。附属はサッカーだから」と勧めてくださいました。私の父と叔父がアカシア会員であり、サッカーをしていた叔父は早稲田進学後も活躍していましたから、サッカーの方が縁があったと思います。

中：先輩後輩の関係はどうでしたか。

織：附属では体育会系でも上下関係が変に厳しくなくどちらかという和気藹々でした。小学校から一緒にやっている先輩や後輩もいて、兄弟みたいにチームワークも良かったんだと思います。

中：顧問は野中(幹夫)先生でしたか。

織：はい。高校の時に野中先生でした。ご指導は本当にポイントをついていらっしゃる、人としての生き方についても教わりましたね。

中：恩師のお一人なんですね。

織：はい。あこがれの野中先生からの勧めもあり、筑波大学に行きました。

中：昔は附属のグラウンドでリーグ戦が行われたりしましたね。

織：確か中学の頃だったと思いますが、東洋工業の選手が練習に来ていただきました。あこがれていた小城(得達)さん(51回)、田村(誠)さん(60回)、古田(篤良)さん(61回)と一緒にボールを蹴ることが出来たのはとても幸せでした。高校を卒業してからもサッカーをずっと続けたいと思っていましたね。教員が長くサッカーに携われると思ったので、最初は教員志望でした。

中：恩師の野中先生みたいに、ですね。

織：そうです。教員になるなら地元に残っても良かったんですが、選手の間はバリバリにサッカーをやりたいかったです。高Ⅲで国体に出場できたので、強豪揃いの関東リーグに挑戦したかった。筑波大学に進学し2年の頃からレギュラーに選ばれました。仲間にも恵まれ、川崎フロンターレ監督の風間八宏君も同期で、彼らとサッカーするのは楽しかったですよ。目指しているところが遥かに高かったですからね。気づいたらもっとサッカーをしたいと思うようになりました。教員だと現役選手を続けるのは難しいですし、指導する立場になりますからね。その時、東洋工業から広島に戻って来ないかと声を掛けられたんです。

加：筑波はレベルが高かったんですね。

織：広島では自分が一番と思っていましたが、大学に入ってから考え方を切り替えました。私は彼らにはなれないけれど、彼らには出来ないプレーをしようと。例えば守備で一生懸命に走り続けるというように、ここなら勝てるという部分を考えて練習しました。ポジションもディフェンダーを選んだりね。

加：ディフェンダーだとしても他に選手



P r o f i l e

昭和36年4月22日広島市佐伯区五日市生、49年広島大学附属小学校卒業、52年広島大学附属中学校卒業、55年広島大学附属高等学校卒業、59年筑波大学卒業、同年東洋工業(株)(現マツダ(株))入社、マツダサッカークラブ(サンフレッチェ広島前身)加入、平成3年マツダサッカークラブ引退、4年マツダ(株)からサンフレッチェ広島に出向、13年サンフレッチェ広島に転籍、27年代表取締役社長に就任、

サッカー受賞歴

昭和54年宮崎国体出場、55年関東リーグ優勝、55年総理大臣杯準優勝、62年天皇杯準優勝

サッカー指導歴

平成3年マツダサッカースクール(幼児～小学生)、7年(財)日本体育協会公認B級コーチ資格取得、7年～8年日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ(中国地域担当)、8年F.A International Coaching Course (International preliminary Level) 資格取得、9年(財)日本体育協会公認A級コーチ資格取得

がいたでしょうが、選ばれるようになったポイントは何だったんでしょう。

織：そうですね。サッカー選手らしくないかも知れませんが、とことん走り負けしないとか、激しくぶつかって身体を張って守るとか、恐らく自分の持ち味は頑張ることだと思います。頑張るというのは、能力の問題じゃないと思うんです。自分がやるかやらないかの問題だと思っています。

中：附属にいらした頃に体育以外で好きな科目は何でしたか。

織：う～ん・・・何ですかね。苦手だったのは英語です。共通一次の試験も悲惨な点数でした。それが社会人になってから心機一転して英検2級を取得し、TOEICでも高得点を取れるようになりました。というのも、私がマツダに入った年にハンス・オフトさんが監督として来られ、通訳もいたのですが、監督と直接コミュニケーションしたかったのです。当時は外国人選手も増えて、マツダがフォードとの関係を深めていたので英語の社内教育制度があり、3年間週2回、始業前



に英会話を習い続けました。やはり必要に迫られて勉強すると力がつきますね。そこで教わったことを基にピッチでも会話をしていく内、自信を深めていきました。英語教育には会話も大事だと思いますよ。

中：オフト監督の指導はどうでしたか。

織：その1年前に初めて2部に落ちた時でしたから、午前も午後毎日練習でした。その時が一番サッカー漬けでしたね。高校や大学よりも。オフトさんは当時の日本で最先端の指導者でした。特に戦術や考え方などは大変に勉強させてもらいました。

加：心に残ったひと言とかありますか。

織：“Watch the mirror”です。鏡には自分の姿が映るのですが、自分のありのままの姿を客観視しなさいということです。つい自分中心にプレーをしたり考えたりしがちですが、頭に血が上った時にも一瞬心を落ち着かせて間が取れるようになったと思います。

加：選手引退後は何をされたのですか。

織：マツダの子供サッカースクールでコーチをし、1年したらサンフレッチェが誕生しました。プロのチームでフロントの仕事をしてみたいと思いましたが、そのためには事務仕事も学ぶべきだろうと考え、私が成長し必要になった時に呼び戻してください、と当時の上司であった今西総監督にお願いしました。わかった、ということだったので、半年過ぎてもどこにも配属されず、結果的に現場が人手不足だったからだと思いますが、選手からコーチや監督じゃなくてプロ



ントになりました。でも今の私自身は、いや～困ったことになったなあ、というのが正直な気持ちですね。今までは勝ち点3をどうするかということばかり考えていたのが、今はどうやってたくさんのお客様に応援に来てもらうか、スポンサーや広告看板などを増やしていくかということを考えなくちゃいけませんからね。

中：なかなか大変なんですね。

織：もう一つあるのが、現場しか知らなかった奴がトップをしたらやっぱりダメじゃったのお、とは言われないうにしたいですね。後に続く人のためにも、出来るだけ粘り強く取り組んで行きたいと思っています。

加：今までと他に何か変わりましたか。

織：サッカーしかやって来なかった私が今また新たに色んなことを勉強させていただいています。社長に就いて今は挨拶回り中です。これまでお会いすることのなかった一流企業の経営者の方とお会いするようになりましたし、狭い世界にいたんだなとも思うようになりました。

中：在校生へのメッセージをどうぞ。

織：興味あることにどんどんチャレンジして欲しいですね。自分から選択肢を狭めないように何でもいいから挑戦してみたらいいと思います。色んなことに広く興味を持つことは大事だと思います。それと人との出会いは大切にしたいです。人によって自分が変わるチャンスが来るかも知れなから。色んな可能性が生まれたり、自分の決断を後押ししてもらえかも知れないし。だからこそ人を大事にして欲しいです。

中：サッカースクールみたいですね。

織：そうですね。もちろんスクールではプレーが上手になって欲しいと思っていますよ。でもサッカーが上手くなる前に人間性を高めて欲しいです。プロ選手を育てることも大事なことです

けど、それ以上に立派な人間を育てていくの方が大事な役目だと思っています。サッカーを通じて人間を教育していけるチームづくりをしたいと思っています。

加：確かに選手たちに直接お会いしたらとても優しくて親切ですね。

織：あれ？加用さんはもしかしてこの前、選手とのイベントに来てなかった？お坊さんの格好してたでしょう。

加：あっ、はい。伺いました。

織：千葉(和彦)選手とリフティングしたお坊さん、やるなと思って見とったんよね。

加：御利益あるかなと言われたんですが記念のJ1通算1000ゴールを決められて本当にいいことありましたね。

織：そうか。今度言っとくよ。

中：アカシアの皆さまにもどうぞ。

織：ぜひスタジアムに足を運んで応援しに来てください。広告を出していただけるのももちろん嬉しいですが、やはりスタジアムに足を運んで熱い応援で選手の背中を押してください！

中：今日はどうもお忙しい中をありがとうございました。

.....
加：サンチェもフレッチェもサプライズ登場がなかったですね。
中：えっ、会いたかったん?!
加：サイン欲しくて密かにユニフォーム持って来たんですけどね。。。
中：じゃあスタジアムに行きんさい。

中本泰弘(65回)

加用雅信(80回)

撮影 瀬尾 淳(85回)



左より 瀬尾淳(85)、加用雅信(80)、織田秀和氏(70)、中本泰弘(65)

~母校定期演奏会のお知らせ~

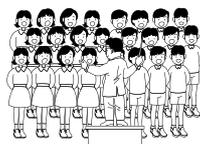
入場無料！お気軽にお越しください。

合唱班第9回定期演奏会

日時：2015年8月2日(日)
開場：14:30 開演：15:00

場所：広島大学附属中・高等学校講堂

曲目：「ルネッサンス期のシャンソン」から、
「フォーレ・レクイエム」(OBステージ)
「青いベンチ」「歩いていこう」ほか(生徒による企画ステージ)
「土の歌(抜粋)」(OB・生徒合同ステージ)



管弦楽班 第39回 定期演奏会

日時：2015年8月8日(土) 開場：16:00 開演：16:30
場所：広島国際会議場フェニックスホール(平和公園内)

曲目：シベリウス交響曲第1番、ボロディン「韃靼人の踊り」、「オペラ座の怪人」、「魔法にかけられて」、他
ワーグナー「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕
への前奏曲(OBOGアカシアフィルオーケストラ)

※会場に駐車場はございませんので、付近の一般駐車スペースにお停め頂くか、市内電車などの公共交通機関をご利用下さい。

アカシア夜話 アカシアンナイト 第13話 (40回生の疎開と被爆)



昭和20年(1945年)、戦局は悪化し、広島市内の中学1、2年生は建物疎開へと駆り出されていました。附中では、市内での危険な作業を避け、農村動員させようと教員や父兄が奔走、7月になって賀茂郡原村(現 東広島市八本松町原)、豊田郡戸野村(現 東広島市河内町戸野)、宇山(現 東広島市河内町宇山)へと生徒を疎開させます。

そして昭和20年8月6日、広島市内で建物疎開の作業に取り掛かろうとしていた他校の中学1、2年生の頭上に原子爆弾が炸裂したのです。実に5,900人もの生徒たちが亡くなり、全滅した中学校もありました。

一方附中の被害は、学校に残り授業を受けていた科学学級の生徒や、事情で疎開に行かなかった生徒など数十名にとどまりました。多くの附中の生徒が教員や父兄の尽力で原爆に遭わずにすんだことに感謝すると同時に、同じように未来に夢を持っているながら亡くなった中学生のことを忘れてはならないでしょう。

今回、たまたま疎開先から帰省中に被爆、全身火傷を負いながらも復帰された古川浩さん(40回)にお話を伺いました。古川さんは昭和18年(1943年)4月附中に入学されましたが、体調を崩され休学。昭和19年(1944年)、再度1年生として復学。級友と宇山へ疎開中でしたが、8月、医師の診察を受けるため帰広されていました。

昭和18~19

甲斐：私たちが想像している附属とは当時はずいぶん違うようですが、入学当時の学校の雰囲気はいかがでしたか。古川：昭和17年6月のミッドウェー海戦の敗北は天王山で、日本は終戦に向かって追い込まれていました。18年2月にはガダルカナルから撤退、5月にはアッツ島玉砕でしたが、敗けているとは国民には全く知らされていなくて、皆、勝てると思っていました。だから附中でも軍事教育が行われていたのです。軍人勅諭を自分で書いて、それから公民(以前は修身現在は道徳)の時間に、それをずーっと読むわけ。軍事教練も時間割にあって、3年生から銃を持たされていました。岡田：3年生というと14、15歳ですよ。古：教育が、頭からね、洗脳されているから。もう。お国のためにと心から思っていました。

日本は精神的には強いんだけど、とにかく物資がない。勝てるはずはなかったのですが、その時は知りませんでした。同級生でも、陸幼(陸軍幼年学校)、予科練(海軍飛行予科練習生)に合格して移って行っ

た方もありました。そうやって若い人が戦争に駆り出されていました。

学校では上級生が幅を利かせていて、放課後全員を雨天体操場に集め説教が行われました。通学の途中で教官、上級生に会うと敬礼せにゃいけん。「お前らの中に欠礼したやつがおるじゃろう！前に出てこい！」と。自分が知らずに欠礼したるかもわからん者は前に出るんですが、出ると殴られる。甲：「通学で電車を使ったやつがおるから、前に出る」とか、「県女の前を通ったやつは前に出る」とか。古：妹を連れて歩いとったら、「女性を連れて歩いとったじゃろう」とか。岡：日本全体がそういう雰囲気だったのでしょうか。甲：附属はまだましな方だったのではないですか。

古：そう、割合民主的な先生はおられたね。英語は敵国語だからダメだったけれど、附属では授業がありました。ニュース映画は見に行けたし、ボートも上級生となら乗れました。音楽の時間は、敵機の音をドレミファで何音かという聞き分けをやっていました。甲：行事はどうですか。古：昭和18年には月1回全員で護国神社に参拝し、また、室積の臨海学校へはラッパを吹いて行進しながら行きましたよ。それが最後の臨海でした。文理大から小学校まで全体でやる運動会があって、私はそれに出たけれど、それも昭和19年にはもうなくなりました。

学徒動員

甲：広島にも空襲があったのですか。古：ありました。私は学校から2キロ以内に住んでいたから、防空要員で、学校を守るため、空襲警報の度に学校に駆けつけました。夜中じゃろうと、早朝じゃろうと。ある時、袋町の方からB25(重爆撃機)がバラバラッと爆弾を落としていって、学園内にも一発落ちました。古い講堂が爆風で押し倒されて、留学生が1名亡くなりました。夜中に駆けつけた時には、呉空襲で、附属の門のところから見ると、真っ黒い手前の山の向こうの空が真っ赤になっていました。

昭和19年になると学徒動員令が布かれ、太田川の氾濫で可部の寺に分宿し田圃の川砂を除くのが最初の労働でした。上級生は三菱などの工場へ勤労奉仕に出ていました。2年の時は沼田の農家に2人ずつ分宿し麦刈りしたり、瀬野で稲刈りしたり、工兵橋のところで馬の餌を運んだり、文理大の図書を祇園の教会に疎開させる手伝いをしたりしました。その時、ご苦労さんと出された江波だんごは糞臭い気がしてよう食べんかった思い出があります。八本松のゴルフコースの開



P r o f i l e

古川 浩氏(40回) 略歴

- 1954年 3月 慶應義塾大学経済学部 卒業
- 同年 4月 プリンズ自動車販売(株) 入社
- 1958年 8月 プリンズ自動車販売(株) 退社
- 1959年 1月 山陽商事(有) (現 山陽不動産(有))入社
- 1974年 6月 (有)新宝商邦 入社
- 2005年 9月 から現在も広島県赤十字有功会副会長
- 2007年12月 山陽不動産(有)退社
- 現在 (有)新宝商邦 代表取締役会長

墾もしたんですよ。

甲：そのころには授業は全くなかったのですか。古：なかった。分散してあちこち行っているから。広島他の中学生は市内の建物疎開に動員されて、危険な作業をしているところが多かったけれど、附属は先生が配慮して、疎開を兼ねて分散させていました。宮井：生徒を守ろうといういろいろ交渉されたのですか。

古：そうそう。そして、戸野村、宇山へ疎開しました。甲：疎開生活はどんなでしたか。

古：私たち東組と南組は、宇山で貯水池の土手を作る工事などをしました。私は集団生活で蚊や蚤にやられ、傷が化膿して作業ができなくなったので、山に藜(あかざ)とか藨(ふき)とかを探しに行きました。病人が探すのだから、ろくに集まらない。それで味噌汁を作るけど、草が浮いとるだけよね。それとご飯だけ。だから栄養失調になるし、治らない。そうして動けなくなった者が、山へ行く。甲：動ける者は作業をする。宮：調子が悪くても、寝てていいよというわけじゃなかったのですか。古：もうあの頃はね。みな、ギリギリでした。戸野村に疎開した北組は、修身の先生が厳しくて衝突していました。とうとう、集団で脱走事件を起こしてしまいました。

結局私は体調がよくなり、一度診察を受けよと言われて、広島にもどりました。

被爆

甲：たまたま帰広されていたのですね。どちらで被爆されたのですか。

古：帰広中に校庭の菜園の様子を見ておくように言われていたので、8月6日朝、舟入の自宅を出て、千田町の学校に向かって歩いていて、ピカッと光りました。マグネシウムを焚いたような光。そして次の瞬間、体がふわーっと上がって、15mくらい飛ばされました。あの頃は訓練をしていたから、すぐ道路へ伏せました。体の左側に熱湯を吹きかけられたような痛みがあって、熱いので払いのけたらずるっと皮が剥けて。起き上がれずうつぶせていると、市の中心部の方から、バリバリと音を立てて建物が倒れていきました。音がダーッと通り過ぎて行って、砂煙が上がりました。

なんとか家にたどり着き、倒れこみました。帽子や教練手帳、生徒手帳はわからなくなっていました。母に服を探しにってもらいましたが、焼けた切れ端しか見つかりませんでした。

舟入の自宅に火が回ってきたのは2時半頃、舟入病院から火が出て、病院の建物がこっちへ倒れこんでいるから、全部燃えてしまった。危ないから河原に降りていましたが、敵機がくるというので、また上がって防空壕に入りました。もう私は寝とるだけになりました。火傷の跡が化膿して、じゅくじゅくと垂れてきたのを、毎日母が拭き取ってくれて、石路(つわぶき)の葉を貼ってくれました。石路は膿を取ると言ってね。赤チンを塗った人は表面は治るんだけど、中の膿がひ



どくて死んだ人が多かった。下痢も続きましたが、助かったのは母のおかげかな。
甲：ずいぶん爆心に近いですね。よく助かりましたね。**古**：1.5kmですからね。生き残ったのはたまたまでしょう。近所の方と一緒に焼け跡で暮らしましたが、毎日火傷がなくても突然亡くなってしまふ方が多く、死への恐怖心もなく何時自分が死ぬのかなあと心の中で思う状態でした。

甲：40回生には被爆死された方はいらっしゃらないのですか。**古**：永井(卓爾)君が爆死しました。疎開しなかったのが何人かいるのですよ。彼は自宅で亡られたのじゃないかな。あと疎開に行かなかった連中と41回生の数名が、南門をちょっと出たところで被爆して、家の下敷きになっています。農園に行くいうて、歩いて行きよったらしい。10名くらい広島に残っていました。**宮**：それでもほとんど疎開されていたから、附属は亡くなられた方が少ないということですね。**古**：他校に比べたらね。いろいろ先生の配慮があるのだけど、実質的には南組のある父兄が、手配してくれたということのようです。**甲**：附属の父兄はやはり顔が広がったから、疎開できたのですね。

終戦後

甲：学校に復帰されたのはいつ頃ですか。

古：附中が原村の兵舎で再開して、そこへ復帰しました。**岡**：体がよくなってからいかれたのですか。**古**：秋くらいから汽車で通いました。原村では、原因が何だったか今思い出せないのですが、当時3年生主導でストライキがあり、後日参加者全員が始末書を書かされました。しばらくして、吉土実町(現 東広島市西条町土与丸)の国民学校跡を貸していただけることになり、そちらへ移りました。そこでサッカーを始めました。

甲：附属は昭和22年(1947年)の全国大会で優勝しましたね。**古**：全国大会(お米持参です)では決勝で尼崎中に1点取られただけで、圧勝でした。フォワードに

長沼健さん(39回)達がいて、本当に強かった。私は附小のくじで落ちて、小2で齊美小から附属に編入、**長沼**さんも一緒に袋町小から同じクラスに編入したのですよ。

甲：戦争が終わって学校教育も変わりましたか。**古**：戦中とは一変して、民主主義の教育になりました。この軍事教育と民主主義の教育の両方を受けたことが、私にとってとても大きなことでした。先生も軍国主義の教育をしとったのに、一日にして民主主義に変わって、どうして授業をしたらいいかわからんような状態でした。

その後学校制度は6・3・3制に変わり、私たちは中学5年生から高校Ⅱ年生に変更になりました。そのどさくさで、私たちは中学の卒業証書ももらっていません。学校は、私らが中学を出たら中学が共学になり、高校を出たら高校が共学になった。私が切り盛りをしたのだけど、戦後第1回の中高の大運動会を男女一緒にやりました。

同級生に聞くと、1年生の時のことが一番覚えていると言います。たまたまその時代に生まれたのですが、戦争、被爆、戦後と本当に激動の中学時代でした。

編集を終えて

インタビューの後、日赤の活動に尽力されたことや、アカシア会の会計を立ち上げられたこと、80周年の行事をされたことなど、楽しく伺いました。

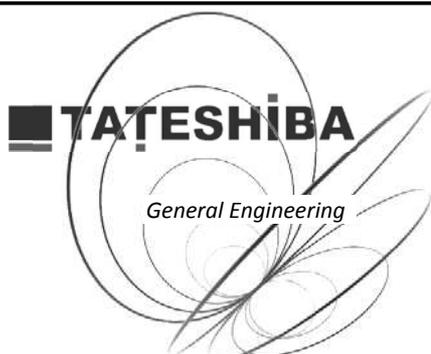
古川さんは、予備役士官だったお父様も年限ぎりぎりで召集されてフィリピンのパターン半島で戦死され、ご自身も、戦争に翻弄された少年時代を送られました。軍事教育から民主主義教育へと教育の転換を経験され、平和に対して強い気持ちを持つようになったとおっしゃいました。お話をお聞きして、時代を生き抜いてこられた大先輩に、只々恐れ入りました。

今の平和な日本、そして附属が先輩方の努力のもとにあることを若い皆さんに伝えていきたいと思いました。

編集：岡田美香(76回)

編集：宮井ふみ子(76回)

文責：甲斐 稔(63回)



〒733-0002

広島市西区楠木町2丁目4番3号

株式会社 立 芝

向井 恒雄(50回卒)

TEL (082)230-3711

FAX (082)237-7222

HTTP://www.tateshiba.co.jp

いろいろアカシア情報

◆呉アカシア会 8月9日(日)正午より、呉阪急ホテルにて開催します。問合：奥村誠哉(49回) hhxph779@yahoo.co.jp

◆98回生同期会 8月15日(土)に広島で開催します！
問合：関 咲織 携帯：090-9467-1807

◆55回卒業生同期会 北九州(宗像大社～宮地獄神社他)
9月29日(火)・30日(水) 幹事：谷本 直、花栗美百合

問合：花栗美百合 miyuri-kikaku@jcom.home.ne.jp
携帯：090-7445-7155 FAX：0940-52-5541

◆九州アカシア会 10月17日(土) 17時より、ANAクラウン
プラザホテル福岡にて、講師に河野操さん(64回)をお迎えし
て開催します。会費：一般7,000円、学生3,000円

問合：山本哲三(61回) syam02038@jcom.home.ne.jp

◆49回生同期会 11月8日(日)・9日(月)に出雲大社・玉造
温泉にて開催します。問合：市岡徹也

◆77回生同期会 2016年1月2日(土) 15時よりリーガロイヤ
ルホテル広島にて開催します。

問合：佐々木順一 j-sasaki@googlegroups.com

6月初旬までに幹事のみなさまより予定をお知らせいただいたものです。
お問い合わせは各幹事へお願いします。このコーナーでは同期会・出版・そ
の他会員の皆様の情報を掲載します。ぜひ情報をお寄せください。

～各学年の幹事の皆様へ～

アカシア会では、同期会の案内発送などのための宛名
印刷を承っています。宛名シール印刷1シート(10人分)
100円(200人分では2,000円)詳細はアカシア会事務局まで。

各地域アカシア会のご案内

地域	会長	事務局	行事予定
東京	福田 眞 (55回)	〒101-0047 東京都千代田区内神田2-16-8 第5氏家ビル201 東京アカシア倶楽部内 中西一彦(72回)Eメール knaka24.chun@gmail.com	総会と懇親会 春と秋 次回は10月31日(土)
近畿	堀内 重明 (50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL079-564-2414 Eメール okakunichan@nifty.com	総会 6月と12月
東海	沖 信一 (55回)	〒442-0884 豊川市光明町2-41-55 佐藤 哲郎(78回) TEL0533-83-0981 (FAX兼用) Eメール tetssato@quartz.ocn.ne.jp	総会と懇親会 2月と9月
岡山	大本 榮一 (27回)	〒700-8550 岡山市北区山下1-1-13 楸大本組内 TEL086-225-5131 Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手 靖吾(54回)	総会 11月第2土曜日 次回は11月14日(土)
広島	吉中 康廣 (50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会 毎月17日 (原則として)
九州	山本 哲三 (61回)	〒814-0142 福岡市城南区片江1-25-10 サポート一級建築士事務所内 山本 哲三(61回) TEL092-863-0151 Eメール syam02038@jcom.home.ne.jp	総会 10月頃 次回は10月17日(土)
東北	野尻 久 (33回)	〒981-3203 仙台市泉区高森7-16-12 前場 大二(89回) Eメール madeinyamaguchi@yahoo.co.jp	懇親会 不定期 (昨年度は7月と 11月)
呉	大之木 精二 (43回)	〒737-0823 呉市海岸3-3-4 兼森 均(61回) TEL0823-23-1104 Eメール mj061915plan@yahoo.co.jp	総会と例会 8月と2月 次回は8月9日(日)
北海道	小林 仁 (59回)	〒047-0261 小樽市銭函1-29-17 (有)増村不動産鑑定内 増村 哲史(68回) TEL0134-61-5525 Eメール masumura@almond.ocn.ne.jp	総会 5月頃

東京アカシア会 2015年度総会・春季懇親会

5月30日(土)東京・四谷スクワ
ール麹町で開催した春季懇親会。「出来
るだけ多くの方に参加していただ
こう！」を目標に、幹事会合で知恵を絞
るところから始まりました。従来のハ
ガキ、ホームページ、メールに加え、
SNS(FacebookとGoogleフォーム)を
通じて告知・出欠確認を行ったところ、
最終的な出席者数は179名にのほりま
した。実は、最大収容人数が150人の
会場で、かなりの密
集・密着具
合でしたが、熱気
を感じてい



左：福田新会長(55回)
中央：的川前会長(50回)

ただたかと前向きに考えております。

総会では、10年にわたり東京アカシ
ア会の会長を務められた的川泰宣氏(50
回)から、福田眞新会長(55回)への引継
ぎが行われました。また、広島からお
越しくださった竹村信治新校長、向井
恒雄アカシア会会長(50回)にもご挨拶
いただきました。



川上和之氏(77回)

歓談の後は、こち
らも初の試み、ミ
ュージカル俳優で歌手
の川上和之氏(77回)
によるミニプレゼ
ン。レ・ミゼラブルから「民衆の歌」
～「夢破れて」のメドレーを披露くだ
さると、お酒も進み盛り上がり



カーブグッズ詰め合わせ、見事ゲット！

皆様が言葉を失い釘付けに。歌声の素
晴らしさとともに、アカシアの多種多
彩さも実感いただけたのではないで
しょうか。

豊富な景品(感謝!)を、砂原徹中学
副校長による抽選で分け合った後、全
員肩を組み学生歌・校歌を斉唱、力強
いエールで会を締めくくりました。

秋季懇親会は10月31日(土)15時より
開催です。ご期待ください！

6月5日記 長通麻弥(84回)



ヒトにうれしいコト。

これまで、みなさまに「おいしさ」で
「うれしい」をお届けしてきた私たち、カルビー。
でも、「ヒトにうれしいコト」は「おいしさ」だけではありません。
"美しい音色を聴いて、心が潤う"ことも、
"素晴らしい絵画を見て、心が動かされる"ことも、
私たちの暮らしになくてはならないこと。
これからは「ヒトにうれしいコト」を、カルビーから。



掘りだそう、自然の力。

二枚(1/5頁) 月例版3万円 全国版4万円
お問い合わせ・お申し込みは事務局まで

近畿発

近畿アカシア会 前期総会



6月7日大阪第一ホテルで前期総会が開かれた。参加者は新卒の105回生6名を含む33名、そのうち最高齢は35回生の上本和彦さんで、その差70歳！まさに三世代の交流の場となった。

第一部は堀内重明会長(50回)の挨拶、議事後、乾杯に移った。ご発声

をお願いした上本和彦さん(35回)は、附中卒業後、江田島の海軍兵学校、京大を経て大蔵省関係部局で活躍された経歴の持ち主。最近、散歩の途上で知り合った米軍パイロットとは英文でメールを交換している中で、そのパイロットの友人で世界最高高度と最速記録を持つ高名なソ連のパイロットのことばが披露された。Skill will prevail when luck is on your side。(人間の技量も天運あればこそ)

来賓の向井恒雄アカシア会会長(50回)から、先般実施された110周年記念

事業の報告がなされた。記念事業の食堂改修事業には想定の2倍を超える寄附が集まったことに謝意が示された。続いて今年是被爆70年の年でもあり、被爆を題材とした『おこりじぞう』(山口勇子作)の朗読を実施した。朗読は近畿アカシア会副会長でもある皇暢子さん(46回)。元RCCアナウンサーで現在は朗読ボランティアもされている皇さんの名調子に一同聴き入った。なお作者の山口さんの三人のお子さんもアカシア会員とのこと。

その後出席者のスピーチ、アカシアソング斉唱で閉会とした。

6月8日記 岡國太郎(57回)

その他の出席者：(38)川本和良、(43)熊本直文、(45)日下善道、上野徳恵、(46)見門忠雄、(48)鬼武健二、(50)堀内重明、(51)清水邦夫、(62)豊島秀郎、(64)田頭史明、徳丸義也、下田純弘、(84)中野絵理、(97)川村美貴、(104)奥河内雅弥、中村健太、和田晃樹、藤井わかば、山村奈央、吉田百合子、田中大貴、九鬼隆介、池本陸、(105)中元漢、中岡由歩、織田夏海、村上もえ、加藤利佳、澤井るり

東海発

東海アカシア会・豊葦会 総会懇親会



東海地区に縁のある会員により、2月15日、名古屋で豊葦会と合同の総会を開きました。アカシア会から寄贈の校旗を飾り、向井恒雄アカシア会会長(50回)から開催間近の110周年行事の案内をいただきました。沖信一会長(55回)の議事後、吉本幹彦さん(41回)のご発声で乾杯し、南欧料理のコース

を楽しみながら近況紹介。話題のリニア新幹線を紹介した齋藤藤さん(48回)。当会創始の頃を語った小田千恵子さん(48回)。子供連れ・和装は水馬裕子さん(85回)。当会の会場

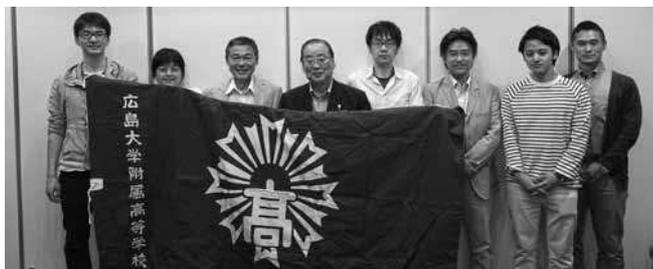
と料理の変遷を語った中村博之さん(43回)。インドに旅行した花岡正紀さん(48回)。スキーに行った宮川隆吉さん(57回)。保護司について語った鈴木政子さん(59回)。松本から駆けつけてくれた大矢文恵さん(87回)。法律お困りごとなら佐藤典子さん(78回)。わずかな時間にも感謝している志水邦子さ

ん(54回)。東京と岐阜でご活躍の田中千晶さん(72回)。バイオリンの本を翻訳中の服部清美さん(72回)。作曲活動中の梶幸一朗さん(81回)。宇宙工学を続けている田中秀孝さん(59回)。石窯ピザ作りを始めた安田健一さん(59回)。漢字検定をお勧めの坂本利彦さん(55回)。三重に旅行した兼川徹さん(48回)。就職活動を始めた笹口峻弘さん(100回)。ジム通いを始めた石田充さん(93回)。野菜作りは土作りからの成瀬まり子さん(65回)。省エネモータの仕事が充実の奥村真一さん(72回)。ジョギングを欠かさない竹中弘さん(67回)と楽しいひとときを過ごし、校歌を合唱してお開きとなりました。夏が終わる頃にビール会を開催します。是非ご参加下さい。

3月8日記 佐藤哲郎(78回)

東北発

東北アカシア会 2015年春季懇親会



平成27年5月16日(土)、「青葉まつり」で仙台の街中が雀踊りや山鉦で賑やかに盛り上がる中、東北アカシア会春季懇親会を開催しました。

療養中の野尻久会長(33回)は残念ながらご出席いただけませんでしたが、

初参加となった二井谷友公さん(73回)、山重大樹さん(101回)の2名の他、伊藤勝副会長(47回)、福島からご参加いただいた高田豊治さん(56回)ら計8名で、賑やかに開催いたしました。

はじめに、伊藤副会長から、創立110周年式典にご出席された時の様子をご報告いただいた後、事務局から、秋に予定されている附属高校の東北への修学旅行についての状況報告をさせ

ていただくとともに、修学旅行成功のために東北アカシア会としてもできる限りの協力をしていくことを確認いたしました。

次に、石巻赤十字病院腎臓内科副部長の松田謙さん(82回)から、ご自身のこれまでの経歴を中心としながら、医師不足に悩む東北の医療現場の現状や課題、東日本大震災時の経験などについて貴重なお話をいただきました。

その後、会員の近況報告やそれぞれの学生時代の思い出を披露するなどして大いに盛り上がり、予定時間を大幅に延長して閉会となりました。

6月5日記 前場大二(89回)

アカシア会報に広告を載せませんか?
一枠(1/10頁) 月例版1.5万円 全国版2万円

呉発

呉アカシア会 第9回例会



2月8日(日)呉阪急ホテルでこれまでの最多44名の参加を得て第9回例会を開催しました。初めに大之本精二会長(43回)と向井恒雄アカシア会会長(50回)よりご挨拶があり、引き続いて気象予報士でNHK広島放送局気象キャスターの勝丸恭子さん(89回)をお迎えして、「勝丸恭子の出張お天

気ニュース」と題し、天気予報がいかに作られるのかについて講話されました。お話では気象キャスターといえども、毎日着る服装に気を使い、着る服はお母さんがコーディネーターでメイクも自前なこと、一方、アナウンサーの服は局で準備という裏話に「NHKの天気予報は、勝丸さんの服も毎日見

ないといけんね。」となりました。最近の広島県の天気予報の雨予想が84%当たっており、更なる向上を目指していることなど、キャスターとしての苦労話や生々しい話一同耳を傾けました。その後、湯浅純吉氏(47回)の音頭で乾杯し、世代を超えた楽しい昼食会を進めました。ご多忙中参加の衆議院議員寺田稔氏(66回)より昨年末の当選のお礼があり、「東京訪問時にはぜひ議員会館へきてください。」と挨拶されました。時はあつと言う間に過ぎ、校歌斉唱、楨本良二応援団長(69回)によるエール後に閉会となりました。次回は8月9日(日)12時から第10回例会を予定しています。

6月1日記 谷田部広志(65回)

北海道発

北海道アカシア会 設立総会



聞いてや、北海道にもアカシア会ができたんよ！
きっかけは、北海道広島県人会(こちらはまだ設立4年目)で知り合った

アカシア同窓生3名が、お好み焼き屋さんで「わしらがやろうで！やらにゃいけんで！」と、呑んだ勢いで盛り上がったこと。その後2回の呑み会兼設立準備会を経て、3月7日(土)に札幌アスペンホテルのアカシアの間(!)にて「北海道アカシア会設立総会」

の開催にこぎつけました。
当日は荒木道郎大先輩(48回)から、最年少は104回の大学1年生3人組まで総勢13名が出席。小田史郎氏(82回)

の総合司会のもと、総会では発起人を代表して江口修氏(59回)から設立に至る経緯、福田惇紀氏(94回)からは起案者として会則案と初代役員案の説明をいただき、満場一致で承認されました。続く懇親会では、初代会長に選ばれた小林仁氏(59回)のご挨拶に続き、少人数の気楽さを生かして出席者全員が自己紹介(及び、何の因果で北海道くんだりまで来たんかという事情説明)を行い、全員並んでの写真撮影の頃にはお互い初対面とは思えないほど打ち解けた雰囲気になりました。締めには、今後も恒例となるであろう校歌を涙ながらに？斉唱し、遠くない未来の再会を約したのであります。皆さん、次回も集まってくれんさい！

6月4日記 増村哲史(68回)

職域・クラブだより

アカシア医会 第50回総会



5月23日、広島アンデルセンで平成27年度アカシア医会総会が開催されました。今年50回の記念として恩師2名を卓話講師としてお招きしました。平成26年度会計報告などを行った後、松井坦先生、南村俊夫先生に「恩師たちを呼ぶ～教師の目から見た附属高校の今昔～」をご講演いただきました。非常に懐かしく、ひと時高校時代に戻ったようでした。懇親会では、木村

進匡氏(46回)に乾杯の音頭をとっていただきました(写真は恩師の先生方と楽しい時間を過ごした様子です)。全員の1分間スピーチでは、各々の近況を楽しく語り合いました。最後に校旗の前で校歌斉唱、そして医学部6年生5名の万歳三唱で盛会のうちに終了しました。出席者は、医学部生5名など初参加の14名を含む53名でした。

5月30日記 香川直樹(69回)

アカシアサッカークラブ サッカー班 新卒業生 卒業生懇親サッカー大会に参加

去る3月22日、昨年に引き続き、修道・基町・城北・国泰寺・附属高校の新卒業生対象の懇親サッカー大会にご招待いただきました。各伝統校の卒業生に対し『サッカーを通じて知り合い、文武両道の道を邁進してきた卒業生に対



し、卒業後広島を離れても、共に過ごした同年代の友情と広島への熱い想いを忘れず各方面で活躍して貰いたい』という趣旨で開催されています。修道高校の芝のグラウンドをお貸しいただき、各校とも楽しそうに、元気にボールを追いかけていました。表彰式の際には、グラウンドにて各校の校歌を肩を組み歌うという光景が見受けられました。修道高校OBの方々、そして引率の先生方に感謝いたします。

3月22日記 平岡誠治(86回)

110周年記念
アカシア籠球倶楽部懇親会



母校創立110周年を記念して、1月2日に記念行事を行いました。体育館での試合の後、ANAクラウンプラザホテル広島で懇親会を開催しました。雪の降る寒い日でしたが、顧問の朝倉孝之先生のお声掛けで、上は43回から現役まで100人を超える新旧班員が集まり、籠球班の絆を感じました。また、この日からOB・OG会を「アカシア籠球倶楽部」とすることとしたほか、創部78年の歴史を凝縮した記念誌も発行しました。OB・OGの皆さん、朝倉先生がよくおっしゃられています、「附属高校籠球班を育てていきましょう。」ブログ「アカシア籠球通信」(<http://monokidd.blog.so-net.ne.jp/>)も御覧ください。6月12日記 沖本真朗(83回)

アカシアベースボールクラブ総会



平成27年1月3日 アカシアベースボールクラブ(ABC:野球班OB会)の定期総会が、アンデルセンにて開催されました。

59回の小谷幸生会長以下14名が参加し、現役支援策その他について活発な議論が交わされました。

*1月3日の定期総会、8月14日の親善軟式野球大会は永久固定日程です。スケジュールを合わせて、是非ともご参加くださるようお願い申し上げます。 谷口公啓(73回)

同期会だより

「アカシア40」懐かしの集い



アカシア40回生は、平成24年5月に「最後の同期会」と銘打った会をもって、同期会を打ち止めにしました。その「最後の同期会」の模様を、古川浩さんの肝入りで写真入りの記念誌として出版し、40回卒業生全員及び物故者のご家族へ配りました。さらに、その出版記念として「アカシア40有志の会」を平成26年4月に開きました。

ところで、このまま何もないのはどうも淋しい。有志だけでも集まってよもやま話をしようではないか、とのことで任意の世話役3人で声かけをしました。

去る4月17日、メルパルク広島に16名(遠来は東京4名、九州1名、物故者のご家族1名)が集まり、それぞれよもやま話に花が咲き、一年後の再会を誓い、校歌を歌って散会しました。

なお、「アカシア40」は、毎年4月17日に集いと呼びかけます。振るってご参集ください。 磯谷郁夫

110周年記念オープンクラス会
「臨時特別41期会」



司会者から「イの一番に申し込んでくださった41回の大先輩」と呼ばれた我々長老グループは、会場正面の金屏風の真ん前の円卓2台の周囲にピシリ並べられた椅子席22脚に、悠然と腰を下ろして会は始まりました。

会場の最高位席を占めた我々は注目

的でした。遂には「狭い会場だが、ワシらだけでも集合写真を撮ろう」となり、金屏風前に寿司詰め状に並んでの撮影風景は圧巻でした。「卒業60周年を終えても、こうして記念同期会が出来たなんて、ほんと良かったなあ」とは、吉本幹彦君のしみじみたる述懐でした。 4月18日記 新井俊一郎

第43回生同期会 -広島で開催-



母校創立110周年に合せ「50・60鼻たれ小僧80からが花なのよ」と、80歳になった同期会をしました。225人が入学、51人の参加がありました。昔話や現況報告に楽しい時を過ごし、締めはやっぱり愛してやまない母校、その校歌を誇りを持って高らかに歌いました。乾盃で島一秀さんが120周年迄元気でいようと挨拶したので、10年後を約して散会しました。

4月18日記 落久保万里子

毎年同期会開催の46回110周年記念



母校創立100周年の同期会以来10年、その間10回の同期会を開いてきました。広島での開催を中心に、東京、京都、淡路島等開催地も色々でした。今年「附中時代の思い出探しの旅」と銘打って、中学時代の修学旅行で訪ねた九州にでかけました。足腰に不安があって全員参加とはいきませんが、新幹線、バス、フェリーと乗り継いで雲仙や熊本、佐賀、長崎と厳しい旅程をこなしてすっかり中学生にかえり気分はウキウキ。昔とかわらぬものは珍しく、60余年の歳月は島と島をつないだ数々の橋で交通アクセスの発展ぶりは

株式会社 融合事務所

所属俳優



柳葉 敏郎



勝俣 州和

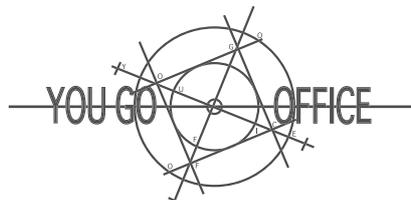


木村 多江



高橋 かおり

代表取締役 宮崎 忠 (66回)



<http://www.yougooffice.com/>

株式会社 融合事務所 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-23-7 エビスパークヒルズ203号 TEL:03-3794-2404

驚くばかりで、「来年もこの続きを…」の意見も。パーティでは岩合一男先生にご出席いただき参加者それぞれのコメントを聞き、来年開催を約しました。各々がた急いで旅立つことのないよう、来年も元気なカオを見せられたし。再会を待つ。 田中國重

アカシア47<喜寿>同期会



母校の110周年記念行事が挙行された4月18日、47回生は「喜寿を祝う同期会」を開き、会場のメルパルク広島に65名の懐かしい顔が集まった。

元女子アナのTさんの司会のもと、大病を克服して参加してくれた人の話、晴耕雨読の生活のなかイノシシの被害と戦う人の話など、興味深いスピーチが続いた。その後は同級生だけが共有する心地よい空間が広がり、食べて飲んでしゃべって笑って、楽しい時間は瞬く間に過ぎていった。最後は校歌斉唱で締めくくり、次回の「傘寿を祝う会」の再会を誓って散会となった。

又、前日の「カーブ応援の夕べ」に参加した47回生の7名はオーロラビジョンに映し出され、記憶に残る月例会になったようだ。 F井I子

創立110周年記念 50回同期会



母校の創立110周年記念を祝って、4月18日(土)、記念事業の一つである「オープクラス会」の会場(ANAクラウンプラザホテル広島アカシアの間)で50回の同期会を開催しました。参加者は45名、前回の卒業50周年記念同期会(2010年開催)以来5年ぶり?や

卒業後初めて?など、お互い健康での再会を喜びました。当日2時半からの「宇宙フォーラム」にもたくさんの同期生が参加し、また記念事業の前後に各組ごとに食事会、小旅行などのクラス会も開催されました。年を追うごとに同期・同級の集いが盛んになっています。尽きない歓談の裡に閉会となり、再会を誓って散会しました。

6月4日記 井藤壯太郎

52回1組クラス会



2015年4月17日の金曜日、午後1時からアカシア52回1組のクラス会を開いた。会場は広島市南区の庭園レストラン「半べえ」。卒業後40年くらいは5年おきに、それ以降は2年おきにクラス会を開き、前は2年前東京で開いた。クラスメイト7名が亡くなり、今回は男性10名女性8名の18名の参加。4時まで近況報告などで楽しく食事をしながら語り、次回は1年後の来年4月21日に岩国の稲垣さん邸で開くことが決まった。次回幹事は稲垣得知代さんと、佐々木洋三さん。今回の幹事は佐々木昂と、三芳由美子さんだった。5時からは二次会に移った。とても楽しいひと時だった。佐々木昂

110周年記念52回2組クラス会



4月17日、「児玉」にて開催されたクラス会には、11名が参加した。三上昭莊先生のお言葉、出席番号の一番遅い藤原敦子さんの花かご贈呈、番号の一番若い伊藤哲朗さんの乾杯の音頭ののち、ミシュラン二つ星の日本料理を堪能しな

がら、和やかな語らいのときを過ごした。

翌18日、広島バスセンター発「かがや姫号」の先頭座席を占領して、オプションの竹原観光に出発。参加者は、途中参加も含め5名。普通は見逃すような景物もガイドのひょうきんな案内で楽しみ、昼食はお好み焼き「ほり川」でうまくてボリューム満点の肉玉うどん。午後は、ガイドが割愛した寺院2か所を見て回り、マッサンで有名になり品薄の「竹鶴」を購入して解散した。

4月28日記 中山八信

52回5組-3年振り広島に集う!



卒業50周年記念クラス会で「3年後の再会」を誓い、早期に準備開始。予定通り、4月17日グランドプリンスホテル広島で開催した。1年前に日程を案内したことも効を奏し、ハワイ、北海道、首都圏、関西圏他県外から16名、広島8名の計24名が出席する盛況に。女性の健康寿命は流石!参加率70%は男性の50%を圧倒した。

18・19日は呉・下蒲刈、尾道散策・平山郁夫美術館まで足を伸ばし、旧交を温め明日の元気につながる3日間だった。 佐々木宏・神谷ゆかり・田中秀利

55回卒業50周年記念同期会



10年振りの同期会に59名(男子34名女子25名)が集まり50年振りの友もいて「あんたーだれねー?」という会話も飛び交っていました。II・III年生を担当していただいた5クラスの中で唯一ご健在の岩合一男先生をお招きして、格調高く先生のお話から始まりま



福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly
皆様の百貨店、Fukuya。

Fukuya



福屋広島駅前店

した。先生は私たちの卒業と同時に附属を去り23年後に校長として戻られ二世代で接した友もいます。先生は教育について熱弁され、その後ほぼクラス毎のテーブルで中華の会食となりました。最初に予約のANA会場「アカシア」をオープンクラス会に譲り「カトリア」での2時間はまたたく間に過ぎ、二次会は46名の参加者で名残りが尽きない夜でした。 樋渡美和子

56回生同期会



今年の56回同期会は母校の創立110周年に合わせ、4月18日に7年振りとなる広島でおこなわれました。元宇品のグランドプリンスホテル広島に、松井坦先生を始め46人が集い、いつものようにお酒を飲み交わしながら近況を報告し合い、懐かしくも楽しい時間を過ごしました。最後に定番の校歌、学生歌、山男の歌を全員で歌い、あっという間の2時間半でした。二次会はホテル内で席を変え、夜遅くまで語り合いました。

翌日はホテル前橋から出る高速船に乗っての宮島散策。ガイドさんの案内で宮島の歴史を辿るコースを皆元気よく歩きました。来年は卒業50周年のメモリアル同期会、それまで皆さんお達者で。 5月16日記 内海章光

アカシア58回 長浜の旅



今年の同期会は関西地区ということで、滋賀県草津在住の下郷信君に大変

お世話になりながらの長浜ロイヤルホテルで絶景の琵琶湖畔の夕陽を観る旅を企画した。5月23日18時に広く開いた窓から見る湖畔は残念ながら曇り空、夕陽は鑑賞できなかったけれど参加者23名毎年のように楽しい会食と会話が弾んだ。今回の朗報「藤岡洋保君の肝炎完治」飲酒許可もおり再度の乾杯。翌日の竹生島クルージングのあと現地解散となった。 大辻明

59回合同クラス会



4月18日の110周年記念行事のあと、場所を広島アンデルセンに移し、59回生だけの合同クラス会を開催しました。

会では、各クラス共に10名近い参加者、計50名だけでなく、太鼓矢晋先生・福森信夫先生、式部透(60回)くんにも参加いただきました。久々にクラス会に参加した者もあり、懐かしい話で夜遅くまで盛り上がりました。 田中文明

母校110周年記念63回生同期会



110周年の諸行事の興奮をそのまま引き継いで、4月18日広島アンデルセンにて同期会を開催しました。昨年の還暦同窓会開催から9か月と短い間隔で催したためか、地元勢の集まりが今一つでしたが、「還暦」に來られなかった人、殆ど卒業以来の人を含めて、39名の出席がありました。母校を3月で退職した岡本恵子さんの協力で、陰山秀明君からのサプライズプレゼントもあり、4~50年の時を一瞬で飛び越え、

小学生にまでも戻ってしまえる楽しさを深夜まで満喫しました。 甲斐稔

65回同期会



65回生は母校創立110周年記念式典の後、ホテルサンルート広島に50名が集い卒業40周年となる同期会を行いました。受付では遠くから手を振り合う者、暫く見つめ合って感嘆の声を出し合う者と大変賑やかでした。宇佐川信行先生、片山一法先生、中村重太先生をお迎えし、在学中と変わらぬ口調でのお言葉に皆が頷きながら聞き入っておりました。竹内晃君と浅田佳代さんの社交ダンスに続き桜井光弘君力作の小中高の写真を編集した映像に見入り、思い出話に花が咲いてあっという間の3時間でした。

65回生は夏と冬にクラス持ち回りで集い、年に一回の修学旅行をしています。さて次はどこに行こうかしら？

5月30日記 小坂博子

67回 57~58歳記念広島同窓会



110周年記念学年同窓会を開催。場所は大手町ケンビーズ。80名+恩師4名で満員、組で机を分け、殿納基靖の司会で開会。乾杯後、武田晃アーカイブス披露、45年前の写真100枚、新作発掘の努力に見合う爆笑。昔の自分達は、ぶち面白い。スカイプで米国から留学生Anna Haight登場には、M.J. リトルモア恩師、影浦攻恩師、野中幹夫恩師、栗園重弘恩師、含め、全員

手芸家



代表取締役社長 榎下 賢 (77回卒)

〒732-0056 広島市東区上大須賀町14-5
TEL.082-263-5211 FAX.082-263-8087

<茂木健一郎 講演会のお知らせ>

茂木 健一郎(脳科学者)と
池田 雅延(『本居宣長』元担当編集者)が語る

- 人生の教師 小林秀雄について -

「小林秀雄の声について-精神からにじむ音楽」(茂木)
「小林秀雄が『本居宣長』を刊行するまでの12年」(池田)
10月12日(月・祝)16時00分開演(予定) / 広島県民文化センター
前売り / 一般: 1,900円 大学生以下: 1,200円
予約 / yositen2015@gmail.com 池田塾 in 広島 (吉田 美佐 77回)

が拍手喝采でした。

多くの級友の協力で、懐かしい笑顔に会えた。次回は還暦、場所は東京？

6月12日記 竹末耕三

75回卒業後30周年記念同期会



4月18日(土)の母校創立110周年記念行事の後、75回の卒業後30周年記念同窓会をANAクラウンプラザホテル広島にて開催し、65名もの方に出席していただきました。恩師は、南村俊夫先生、井ノ迫泰弘先生、菅原敬三先生、有田嘉伸先生、河野令二先生にご参加いただきました。各先生方の心温まるお言葉の後、近況報告リレー、4組の

担任だった横山道昭先生を偲んでの献杯を行いました。また、亡くなった同級生のお父様である41回の新井俊一郎さんにも飛び入り参加をいただきました。最後に集合写真を撮影して先生方に写真を入れたデジタルフォトフレームをお贈りし、10年後の母校創立120周年には卒業後40周年記念同窓会で再会しようと誓い合いました。

6月5日記 杉山亮一

節目の93回同期会



ちょうど30歳になった節目の年になんで、1月4日にオリエンタルホテル広島にて同期会を行いました。3年ぶりの開催ですが、それぞれ働く環境

が変わったり、家族が増えたりして、まだまだ駆け出しだった頃の前回に比べて、みんなすっかり社会を支える一人前の大人になっていたのが印象的でした。家族が増えて参加が難しかった人も少なからずいるようでしたが、先生方を含め62名の参加となりました。これからも3年ごとに同期会を開催して、その時々に参加できる人たちで定期的に集まっていきたいと思います。

5月15日記 森信秀一郎

アカシアライブラリー

寄贈資料の紹介

(2015年1月～5月)

(敬称略・受付順) 太字は寄贈者

資料のご提供ありがとうございます。

・データ「昭和20年4月入学の生徒(41回生)異動状況一覧」

(41)新井俊一郎

・武田祐三(44回)著「芸備線 中国山地の沿線物語 備後東城駅～三次駅」

(44)武田祐三

・中村 英(57回)編「被爆の街の学徒たち—広島高等師範附属中学校 科学学級の記録」(会報「アカシア」479(2014年1月)号の取材をきっかけに、散在する科学学級の記録をと

りまとめた冊子) (57)中村 英

・アルバム「愛無限 広島大学附属高等学校籠球班 1939-2015」(母校創立110周年を記念しバスケット班の歴史を振り返り製作したアルバム)

(現教員バスケットボール班顧問)

朝倉孝之



籠球班アルバムより

会報月例版

〈月例版は年間購読料2,000円〉

7月と1月に会報全国版を全会員の方にお送りしておりますが、それ以外の月にも会報月例版を発行しています。会報月例版は月例アカシア懇談会の報告の他、会員からの情報をタイムリーに掲載、皆様の親睦に役立つ紙面作りを目指していますので、ぜひ購読ください。

購読のお誘い

〈購読のお申し込み〉

アカシア会ホームページや、お電話、Eメールにてご連絡の上、購読料2,000円をお支払いください。年度途中からのお申し込みには、4月からのバックナンバーをお届けします。連絡先や振込先は会報のページ下の帯に記載していますのでご参照ください。

訃報

(2015年1月以降判明)

Table of obituaries listing names, birth/death dates, and family members.

◆アカシア会会員数(1~105回)

(平成27年6月11日現在・単位:人)

Table showing membership statistics: Total 15,815, Male 10,673, Female 5,142.

メンキナ美紗子(87回)さんからのご紹介



マンになりました。法人向けの営業として日々奮闘しています。休日はジム通い、ゴルフやカーブの応援にも行きます。学生の頃、中高バスケット班に所属し夢中になって練習したことや、体育祭で応援団に所属し根性を培ったこと、多くの先生方、友人との出会いは今の私の礎となっています。

④同じ会社で働く先輩です。会社の飲み会で同じアカシアだと判明し二人で驚きました。

- ① 上野 和憲(87回)
- ② 神奈川県川崎市中原区
- ③ 大学進学と共に東京に移り、そのままこちらでコンピュータメーカーに就職、新橋サラリーマン

自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。たくさんの方

出てもうって ええかいのま

項目説明

- ① お名前と卒業回数
- ② お住まい
- ③ お仕事、自己紹介、母校の思い出
- ④ 次号登場の方のご紹介

会員リレー紹介 99

松林瞳(93回)さんからのご紹介



① 柴田 愛花(97回)

② 沖縄県宜野湾市

③ アメラジアンスクールという教育施設で外国にルーツを持つ子どもに日本語を教えています。

④ 私の母親のいここにあたる方で、すてきな声の持ち主です。

す。日米の言語・文化を学び、希望と可能性に満ちた子どもたちと日々過ごしています。この機会にぜひアカシアの皆様にも紹介したいと思いました。高校ではバスケット班で最高の仲間ができた事が一番の思い出です。沖縄は広島の方も多く、そんな繋がりも大事にしつつ九年目の沖縄生活も楽しんでいます。

アカシア
ミニギャラリー

陶芸作家



① 峙立



② 土のたまご



③ 萌



④ 現れた風景・隠された風景

内に秘められたエネルギーを形にしたいと思っています。①、②の作品は、大地の持つ存在感や中から隆起しようとする湧き上がる力を現しています。③の作品は、蕾の持つ生命力、今まさに飛び

ださんとする命を表現したかったところです。④の作品は、地表で見えているものはわずかでも、今ここに存在するためには気の遠くなるような過去からの営みが続いて来たんだという事を形にしました。うまく伝わるでしょうか。

自宅アトリエでは、教室も開いております。どうぞお気軽にマイカップを作り にいらしてください。

広島県工芸美術作家協会理事・陶芸家
岡 登志雄 (64回)

— 岡 登志雄氏ギャラリーのご案内 —
広島市佐伯区海老園3-3-6
TEL: 082-921-3886

事務局だより

◆ 体育祭(2000年～2007年)復刻版 DVD制作・販売のお知らせ

体育祭の記録映像(2000年～2007年)のうち一部をDVD化し販売することとなりました。DVD化の対象は、(株)クラフトワンが制作したものの一部となります。詳細はアカシア会HP <http://www.acacia100.net/archives/1383>をご覧ください。

◆ 広島大学附属中・高等学校体育祭は 9月5日(土)開催(雨天順延)。

健康にまさる富はない

人間ドック・脳ドック・定期健診・クリニック (内科・消化器内科・循環器内科・脳神経外科・乳腺外科・放射線科)



医療法人社団 朋仁会

広島中央健診所

〒730-0013 広島市中区八丁堀10-10 TEL: 082-228-1177 FAX: 082-221-3040 副理事長 医学博士 岡本 賢 (83回)

6月例会レポート

吉中康磨広島アカシア会会長(50回)の挨拶から始まりました。

「世界に冠たる国民皆保険の現状と課題」
社会保険診療報酬支払基金理事長
河内山哲朗氏(67回)

当基金には、常勤約120人、非常勤約4,600人と、全国の医師、歯科医師、薬剤師の審査委員がいるが、アカシア会会員の方も非常に多い。



1) 日本の国民皆保険の特徴

1番目は、国民全員を公的医療保険で保障している点である。2番目はフリーアクセスで、受診する医療機関を自由に選ぶことができる。3番目は、日本は高齢化が進んでいるが、比較的安い医療費で高度な医療の提供が実現できている点である。4番目は診療報酬の点数制で、コンピュータだけでなく、臨床に携わる先生方の裁量も大きく、非常にきめ細かい制度になっている。5番目は、原則3割の負担をすれば、その場で医療が受けられる現物支給である。

2) 公的医療保障制度を持つ諸外国の基礎情報

日本は高齢化率が24.1%と突出しているが、保険関係支出は、GDP比約1割と意外と安い。人口千人あたり医

師数も2、3人と少なく、昼夜を問わず働く医師のお陰で成り立っているのが日本の現状である。

3) 公的医療保障制度を持つ諸外国との比較

社会保障制度が日本と近く、つきあいが深い諸外国の中で制度が一番似ているのはドイツだが、日本の方が歯科を保険対象とするなど、保険適用範囲が広い。対米FTAの関係で、オランダでは公的保険として民間保険に加入させているほか、韓国では保険適用の範囲が狭くMRIは自費負担が求められるなど、混合診療での問題が生じている。そのほか、アジアでは台湾が皆保険制度である。イギリスとオーストラリアは、自己負担なしの税方式だが、給付対象に制限がある。このように医療保障は各国でそれぞれの特色がある。

4) 医療制度の持続可能性の担保に係る主な論点

今後、高齢化に伴って財政が破綻せず、かつ、質を落とさないことが日本の課題であり、全世界も注目している。鍵はICT化であるが、医療情報の機微性から院外との連携が進んでいない。オプトイン原則などをもとに、情報連携を進める必要がある。次のデータヘルス計画は、医療保険者が加入者の健診結果などを分析して疾病予防などに使う事業であるが、健康と経営は密接に関係するため、企業の健保での取り組みが進んでいる。負担する側の問題としては少子化対策も必要である。そ



河内山氏と同期67回生のみなさん

のほかは、医療費・保険給付、医療提供体制の問題など、医療制度が持続可能で患者が困らないためには改革をどうするかといった課題があるが、先生側にも患者側にも日本の医療保険の実態や課題がほとんど伝わっていないのが現状である。7月5日に、広島国際会議場で当基金主催のフォーラムも予定しており、森本進氏(70回)にもご登壇いただくのでぜひご参加ください。

懇談会

本田和哉氏(62回)に乾杯のご発声をいただき、歓談しました。

6月17日記 沖本真朗(83回)

6月例会出席者(敬称略53名)

- (41) 菊地日朗、(43) 後藤吟子、(44) 山本正一、(47) 湯浅純吉、(50) 井藤壯太郎、吉中康磨、(51) 土上康弘、(53) 馬場則行、山手愨正、(57) 天島純子、清水さえ子、(62) 本田和哉、(63) 甲斐稔、(65) 馬場良和、(66) 木本芳弘、秀道広、(67) 井開澄雄、植山憲明、内藤令子、岡島めぐみ、木坂俊治、北崎慎二、河内山哲朗、斉藤弘之、佐藤博子、塩見明男、高橋浩一、高橋裕子、武田晃、武田和子、立山義朗、西川直美、(69) 植本良二、(70) 森本進、竹田茂、(72) 小田義仁、(74) 山本戸隆子、(75) 花岡奉憲、(76) 松浦勇人、宮井ふみ子、(77) 佐々木順一、村主公夫、植下賢、石田明宏、(81) 木下和敬、橋本佳子、(83) 沖本真朗、織田理之、中井満理、中畝将博、松岡倫子、松本京子、(85) 栗栖史臣

月例アカシア懇談会 今後の予定

8月例会：8月17日(月) 午後6時30分 場所：アンデルセン(本通) 講師：糺場 富美子氏(61回)東京音楽大学教授 新卒105回生の皆様は会費千円。詳細は同封プリントで。
9月例会：9月17日(木) 午後6時30分 場所：アンデルセン(本通) 講師：東條 環樹氏(81回)北広島町芸北ホリスティックセンター雄鹿原診療所所長
10月例会：10月16日(金) 午後6時30分 ※日程が通常と異なります。ご注意ください。 場所：アンデルセン(本通) 講師：石飛 幸三氏(44回)

11月例会：11月17日(火) 午後6時30分 場所：アンデルセン(本通) 講師：未定
12月例会：12月17日(木) 午後6時30分 場所：アンデルセン(本通)「忘年会」 講師：吉野 弘志氏(63回)ベース奏者 ※講師は予定です。
懇親会費は4,000円(84回以降の卒業生3,000円) アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越しください。
2016年1月から、広島アンデルセン改修工事の為、月例会会場が変更になります。新しい会場は、決まり次第お知らせいたします。

飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造蔵 / 〒739-0011 広島県広島市西条本町4-31
TEL(082) 422-2121
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸壺町1-12-9
TEL(03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)

この一杯は 豊饒の海

君がいて 宇宙が歌って

果てもなく 夢かりたてる

飲びの歌 辛きその日も